



労福協たより

2023年3月

第29号
発行責任者
飯室 憲一

富士宮市へ行政要望書を提出しました

2022年12月19日（月）富士宮市役所において、富士宮市に対し**行政要望書を提出**しました。市からは須藤富士宮市長のほか担当部署の代表、労福協からは飯室会長、坪井副会長、馬飼野副会長、浦本事務局長、佐原事務局次長の5名が参加、要望書に基づく協議をしています。**労福協会員からの多くの要望事項のうち三役会・幹事会を経て以下の3項目に取りまとめたほか、静岡県労福協の掲げる県内統一の要望のうち1項目を追加し取りまとめています。**

【富士宮地区労福協の要望事項】

1. 豪雨災害等への対策の進捗について
2. 式典等会場施設の誘致について
3. 富士宮市勤労者生活資金貸付制度（育児休業）の見直しについて

【県内統一要望事項】

4. 消費者被害の防止・救済の取組みと「見守りネットワーク」について



飯室会長から須藤市長に要望書を提出しつつ、市長に対し公務多忙の中にあっても、毎年熱心に勤労者の声に耳を傾けていただけることに感謝申し上げるとともに、労福協は地区の勤労者の声を行政に届ける役割を担っていることを説明し、今後も真摯な検討と協議をお願いしました。

市長からは要望項目ごとに丁寧な回答と具体的な説明がされ、「**今後も勤労者の皆様からの要望に対しできる限り実現に努めるとともに、勤労者の声を直接聞ける大変有意義な懇談機会であるため、行政要望の場だけに限らず年に数回意見交換できると良いですね**」とお言葉もいただきました。

富士宮地区労福協は、勤労者からの声を行政に届けるため今後も活動を続けていきますので、要望事項集約のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。（[要望と回答内容の詳細は労福協ホームページをご覧ください。](#)）

新たな社会貢献取組み「竹林整備活動」

2022年11月19日（土）、富士宮地区労福協の新たな社会貢献の取組みとして、「**竹林整備活動**」をNPOホールアース研究所の協力により開始することとなり、**労福協役員を中心に17名が参加**しました。整備活動をさせていただいた場所は、ホールアース自然学校（富士宮市下袖野）近隣の芝川に沿った山裾です。竹は成長が早く、また地面浅くまでしか根を張らないことから、豪雨時などには表層の土砂ごと流れ落ちてしまう可能性があり、**放置しておくとき大きな災害につながる恐れがある**ほか、猪や鹿などの住処や餌場ともなり、**里山に深刻な獣害をもたらす**ため、竹林の整備は社会的にも私たちの生活の安全を守る意味でも非常に重要です。富士宮市内には未整備の竹林も多く、一部は大変危険な状態になっていることから、私たちの活動が、安心・安全な生活に繋がることを願いながら、森づくり活動と共に本活動も続けていきます。



「新年の集い」を安心・安全に開催しました

2023年1月13日(金)に「富士宮地区労福協新年の集い」を富嶽温泉ホテル「花の湯」で開催しました。コロナウイルス感染症が再度拡大傾向にある中でしたので、鏡開きや会食を中止とするなど、感染症への対策を徹底した上で、**58名と例年の半数程度の参加者**に絞っての集いの場となりました。

冒頭、飯室会長からは「物価上昇による賃金の実質的な目減りなど勤労者の生活は厳しさが増しているが、**労福協の掲げる共助の輪をさらに広げながらこの難局を乗り越えていきたい**」との挨拶がありました。また、来賓の須藤市長からは「コロナや物価高など厳しい環境が続くが、地域経済が活性化し皆様の生活がより豊かになるよう富士宮市としても努めている。**助成金や教育・住宅融資の提携などを継続し、今後も勤労者の暮らしをしっかりと応援していく**」との力強い応援をいただきました。

本年も感染症対策で短時間の開催としたため、早速「若者の会」主催によるゲーム「ピンポン玉スプーンリレー」に挑戦しました。5～6名で45秒間に何人目までリレーできたかを競いますが、小さなピンポン玉に翻弄されながら何度もやり直しとなるチームが続出し大いに盛り上がりました。



ゲームのあとは、メインイベントの大抽選会。労福協幹事会員や福祉事業団体、退福共から提供された豪華賞品を取り揃え、お目当ての賞品をゲットされた方は大喜び。参加者を絞ったこともあり、特別賞を含め全員に景品が行き渡りました。

引き続き制限がある中ではあるものの、労福協は勤労者の暮らしがより豊かなものになるように、2023年もしっかりと活動を展開していきます。新年のスタートにあたり、**多くの会員の皆様と新年の顔合わせ、心合わせができ、楽しいひと時を過ごすことができました。**

大人気「いちご狩りイベント」

2023年2月19日(日)と25日(土)の2回、「いちご狩りイベント」を開催しました。少人数・近距離・現地集合解散の安心・安全かつお得なイベントとして人気の恒例行事となりましたが、今年は100名の募集に対しなんと**903名と大変多くのご応募**をいただいたため、特別枠を新たに追加して抽選を実施し、合計で**45組157名**のみなさまにご参加いただきました。

初日はあいにくの雨模様でしたがハウス内は温かく、2日目は晴天で上着を着ていると暑いくらいでしたが、参加された皆さんは、大振りのいちごをしっかりと選んでは黙々と口に運び、「70個以上食べた!」という声を複数の方からいただきました。肌寒さの残る中ではありましたが、ハウス内にはミツバチが飛ぶ姿や、甘いいちごの香りもあって、**春を感じられる楽しいイベント**になりました。



富士地域「教育・進学知っ得セミナー」

2022年11月12日(土)に富士ロゼシアターにて、**富士宮地域労福協主催の「教育・進学知っ得セミナー」**を開催し**18名**の方に参加いただきました。

講師には、**常葉大学静岡基礎教育センター課長の山本六三氏**をお招きし、「あの頃とは変わった イマドキの大学事情」と題し、最近の大学生の特徴や考え方、大学選びのポイント、今後の入試の変化など様々な切り口から解説をいただきました。

大学入学共通テストなど入試内容の変更点や、面接試験では「**コミュニケーション能力**」に比重が置かれるなどの情報提供をいただき、大学のホームページを参考に大学の運営ポリシーを確認する必要性等を説明いただき、参加者はメモを取りながら熱心に聴講いただきました。



活動の詳細は「富士宮地区労福協ホームページ」を是非ご覧ください!